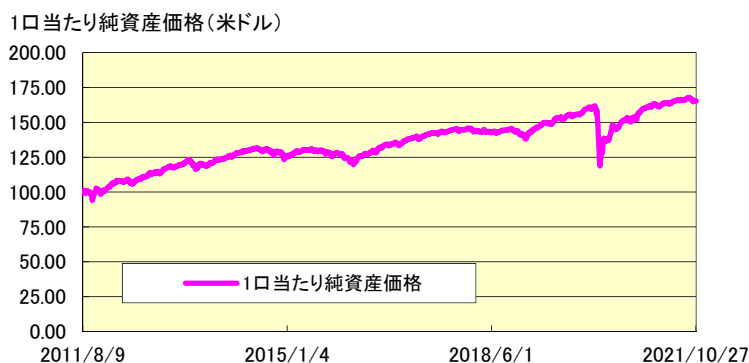


DIAMケイマン・トラストグローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション
 <米ドル建米ドルクラス（無分配型）> <米ドル建ブラジルリアルクラス（毎月分配型）>
 <米ドル建資源国通貨バスケットクラス（毎月分配型）> <豪ドル建豪ドルクラス（毎月分配型）>
 ケイマン諸島籍／オープン・エンド型／契約型外国投資信託
 月次運用レポート（2021年11月）

<米ドル建米ドルクラス（無分配型）>

運用実績の推移



（設定日：2011年8月9日）

1口当たり純資産価格： 165.39 米ドル
 純資産価額： 5.1 百万米ドル

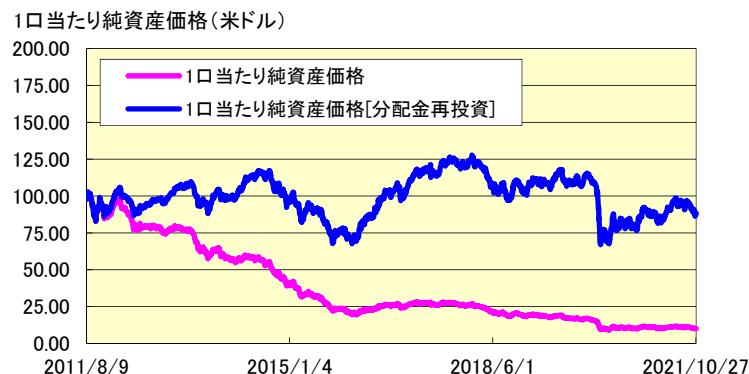
騰落率

1ヵ月 (2021/09/30)	3ヵ月 (2021/07/30)	6ヵ月 (2021/04/30)	1年 (2020/10/30)	2年 (2019/10/31)	3年 (2018/10/31)
-0.66%	-0.57%	0.98%	8.87%	6.39%	15.54%

※上記の1口当たり純資産価格および騰落率は管理報酬等控除後です。上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

<米ドル建ブラジルリアルクラス（毎月分配型）>

運用実績の推移



（設定日：2011年8月9日）

1口当たり純資産価格： 10.07 米ドル
 純資産価額： 5.5 百万米ドル

分配金実績(米ドル)(1口当たり、税引前)

年月日	分配金	年月日	分配金
2020/7/6	0.10	2021/3/5	0.10
2020/8/5	0.10	2021/4/6	0.10
2020/9/8	0.10	2021/5/6	0.10
2020/10/5	0.10	2021/6/7	0.10
2020/11/5	0.10	2021/7/6	0.10
2020/12/7	0.10	2021/8/5	0.10
2021/1/5	0.10	2021/9/7	0.10
2021/2/5	0.10	2021/10/5	0.10
設定来累計分配金			87.30

※直近16期分。
 ※分配金額は、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

騰落率

1ヵ月 (2021/09/30)	3ヵ月 (2021/07/30)	6ヵ月 (2021/04/30)	1年 (2020/10/30)	2年 (2019/10/31)	3年 (2018/10/31)
-3.63%	-8.17%	-0.93%	14.46%	-21.93%	-19.58%

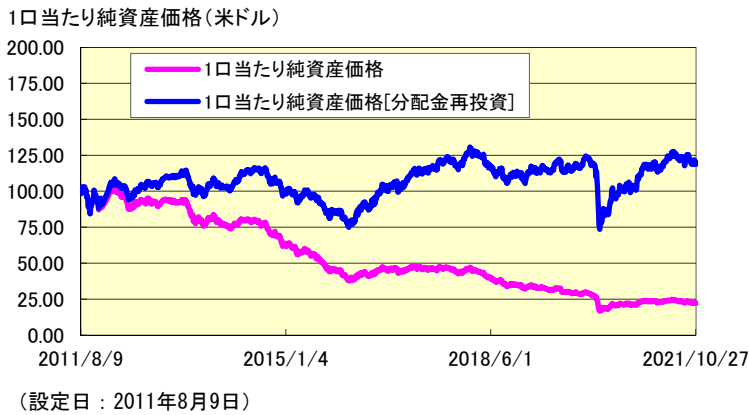
※上記の1口当たり純資産価格および騰落率は管理報酬等控除後です。1口当たり純資産価格[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の1口当たり純資産価格とは異なります。騰落率は、1口当たり純資産価格[分配金再投資]の騰落率です。上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

■本資料はアセットマネジメントOne株式会社からの情報提供に基づき、みずほ証券株式会社が作成した資料です。取得のお申し込みにあたっては、あらかじめ「投資信託説明書（交付目論見書）」、「契約締結前交付書面等（目論見書補完書面含む）」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本ファンドは、世界のハイイールド債券等値動きのある証券に投資し、また、それぞれの通貨に対する為替取引を行いますので、1口当たりの純資産価格は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点での見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無しに変更する場合があります。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を勧誘するものではありません。■投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元本および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。■お申し込みの際には、外国証券取引口座の開設が必要となります。

DIAMケイマン・トラスト・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション
 <米ドル建米ドルクラス（無分配型）> <米ドル建ブラジルリアルクラス（毎月分配型）>
 <米ドル建資源国通貨バスケットクラス（毎月分配型）> <豪ドル建豪ドルクラス（毎月分配型）>
 ケイマン諸島籍／オープン・エンド型／契約型外国投資信託
 月次運用レポート（2021年11月）

<米ドル建資源国通貨バスケットクラス（毎月分配型）>

運用実績の推移



1口当たり純資産価格： 22.11 米ドル
 純資産価額： 2.0 百万米ドル

分配金実績(米ドル)(1口当たり、税引前)

年月日	分配金	年月日	分配金
2020/7/6	0.20	2021/3/5	0.20
2020/8/5	0.20	2021/4/6	0.20
2020/9/8	0.20	2021/5/6	0.20
2020/10/5	0.20	2021/6/7	0.20
2020/11/5	0.20	2021/7/6	0.20
2020/12/7	0.20	2021/8/5	0.20
2021/1/5	0.20	2021/9/7	0.20
2021/2/5	0.20	2021/10/5	0.20
設定来累計分配金		85.00	

※直近16期分。
 ※分配金額は、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

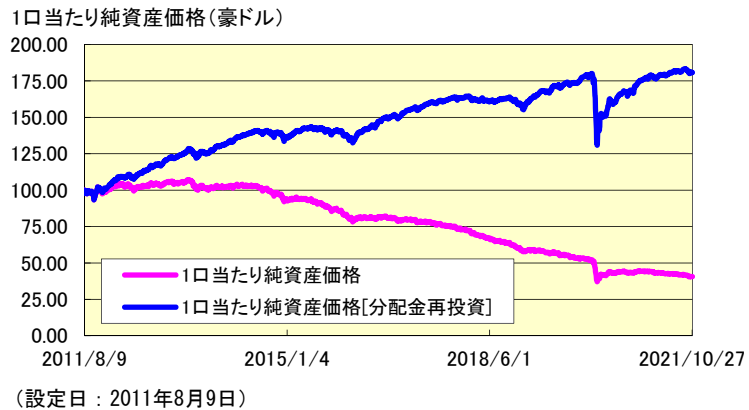
騰落率

1ヵ月 (2021/09/30)	3ヵ月 (2021/07/30)	6ヵ月 (2021/04/30)	1年 (2020/10/30)	2年 (2019/10/31)	3年 (2018/10/31)
-0.54%	-3.36%	-1.34%	17.41%	1.00%	7.62%

※上記の1口当たり純資産価格および騰落率は管理報酬等控除後です。1口当たり純資産価格[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の1口当たり純資産価格とは異なります。騰落率は、1口当たり純資産価格[分配金再投資]の騰落率です。上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

<豪ドル建豪ドルクラス（毎月分配型）>

運用実績の推移



1口当たり純資産価格： 40.59 豪ドル
 純資産価額： 34.0 百万豪ドル

分配金実績(豪ドル)(1口当たり、税引前)

年月日	分配金	年月日	分配金
2020/7/6	0.50	2021/3/5	0.50
2020/8/5	0.50	2021/4/6	0.50
2020/9/8	0.50	2021/5/6	0.50
2020/10/5	0.50	2021/6/7	0.50
2020/11/5	0.50	2021/7/6	0.50
2020/12/7	0.50	2021/8/5	0.50
2021/1/5	0.50	2021/9/7	0.50
2021/2/5	0.50	2021/10/5	0.50
設定来累計分配金		111.00	

※直近16期分。
 ※分配金額は、あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

騰落率

1ヵ月 (2021/09/30)	3ヵ月 (2021/07/30)	6ヵ月 (2021/04/30)	1年 (2020/10/30)	2年 (2019/10/31)	3年 (2018/10/31)
-0.66%	-0.64%	0.84%	8.55%	4.18%	12.15%

※上記の1口当たり純資産価格および騰落率は管理報酬等控除後です。1口当たり純資産価格[分配金再投資]は、税引前の分配金を再投資したものと計算していますので、実際の1口当たり純資産価格とは異なります。騰落率は、1口当たり純資産価格[分配金再投資]の騰落率です。上記は過去の実績であり、将来の運用成果等をお約束するものではありません。

■本資料はアセットマネジメントOne株式会社からの情報提供に基づき、みずほ証券株式会社が作成した資料です。取得のお申し込みにあたっては、あらかじめ「投資信託説明書（交付目論見書）」、「契約締結前交付書面等（目論見書補完書面含む）」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本ファンドは、世界のハイイールド債券等値動きのある証券に投資し、また、それぞれの通貨に対する為替取引を行いますので、1口当たりの純資産価格は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点での見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無しに変更する場合があります。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を勧誘するものではありません。■投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元本および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。■お申し込みの際は、外国証券取引口座の開設が必要となります。

DIAMケイマン・トラスト・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション
 <米ドル建米ドルクラス（無分配型）> <米ドル建ブラジルリアルクラス（毎月分配型）>
 <米ドル建資源国通貨バスケットクラス（毎月分配型）> <豪ドル建豪ドルクラス（毎月分配型）>
 ケイマン諸島籍／オープン・エンド型／契約型外国投資信託
 月次運用レポート（2021年11月）

DIAMケイマン・トラスト・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション

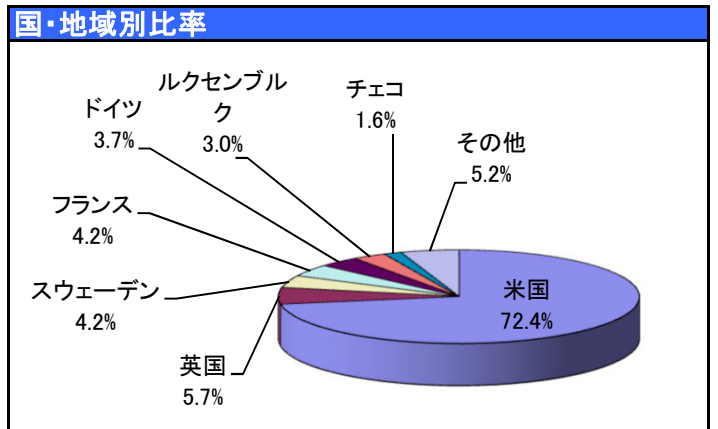
※ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーの現地月末データを基に作成しています。

ポートフォリオ構成	
債券等	98.0%
現金等	2.0%

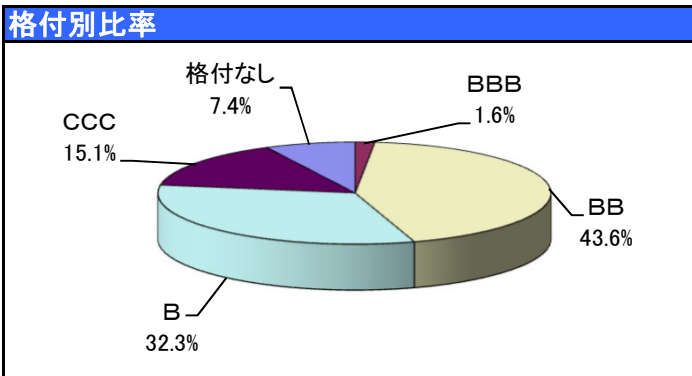
※1 比率は純資産総額に対する割合です。
 ※2 未払金等の影響により、現金等比率がマイナスになる場合があります。

ポートフォリオの状況	
平均クーポン	5.13%
平均最終利回り	4.71%
平均残存期間(年)	6.42
デュレーション	4.49
組入銘柄数	193

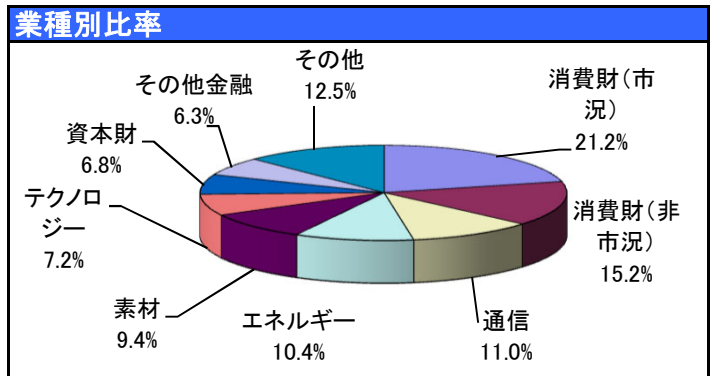
※純資産総額を基に計算しています。



※1 比率は組入債券評価額に対する割合です。
 ※2 国・地域はジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーによる分類です。
 ※3 1.5%未満の国・地域については「その他」として集計しています。



※1 比率は組入債券評価額に対する割合です。
 ※2 格付については、S&P社による格付を採用しています。また、+・-等の符号は省略して表示しています。



※1 比率は組入債券評価額に対する割合です。
 ※2 業種分類はブルームバーグ・インデックスに基づいて表示しています。
 ※3 5.0%未満の業種については「その他」として集計しています。

組入上位10銘柄						
No.	銘柄	国・地域	クーポン	償還日	業種	比率
1	Ford Motor Credit Co LLC	米国	3.250%	2025/9/15	消費財(市況)	1.55%
2	JBS USA LUX SA / JBS USA Food Co / JBS USA Finance Inc	米国	5.500%	2030/1/15	消費財(非市況)	1.28%
3	United Airlines Holdings Inc	米国	4.875%	2025/1/15	運輸	1.21%
4	Constellium SE	米国	3.125%	2029/7/15	素材	1.09%
5	Premier Entertainment Sub LLC / Premier Entertainment Finance Corp	米国	5.625%	2029/9/1	消費財(市況)	1.05%
6	Schaeffler AG	ドイツ	3.375%	2028/10/12	消費財(市況)	1.04%
7	Arconic Corp	米国	6.125%	2028/2/15	素材	1.03%
8	Mozart Debt Merger Sub Inc	米国	5.250%	2029/10/1	消費財(非市況)	1.01%
9	Teva Pharmaceutical Finance Netherlands II BV	イスラエル	4.500%	2025/3/1	消費財(非市況)	0.97%
10	Heimstaden Bostad AB	スウェーデン	3.248%	-	その他金融	0.97%

※1 比率は組入債券評価額に対する割合です。
 ※2 国・地域は、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーによる分類です。
 ※3 業種分類はブルームバーグ・インデックスに基づいて表示しています。

■本資料はアセットマネジメントOne株式会社からの情報提供に基づき、みずほ証券株式会社が作成した資料です。取得のお申し込みにあたっては、あらかじめ「投資信託説明書（交付目論見書）」、「契約締結前交付書面等（目論見書補完書面含む）」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本ファンドは、世界のハイイールド債券等値動きのある証券に投資し、また、それぞれの通貨に対する為替取引を行いますので、1口当たりの純資産価格は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点での見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無しに変更する場合があります。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を勧誘するものではありません。■投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元本および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。■お申し込みの際は、外国証券取引口座の開設が必要となります。

DIAMケイマン・トラストグローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション
 <米ドル建米ドルクラス（無分配型）> <米ドル建ブラジルリアルクラス（毎月分配型）>
 <米ドル建資源国通貨バスケットクラス（毎月分配型）> <豪ドル建豪ドルクラス（毎月分配型）>
 ケイマン諸島籍／オープン・エンド型／契約型外国投資信託
 月次運用レポート（2021年11月）

当月のマーケット動向とファンドの動き

10月の世界のハイイールド債市場のトータル・リターンは、前月末比で下落しました。

米企業決算が堅調であったものの、FRB（米連邦準備制度理事会）を始めとした世界の中央銀行が量的緩和政策の縮小を進めるとの市場見通しや原油価格の上昇などを受けてインフレ懸念が強まったことが重しとなり、ハイイールド債市場は下落しました。

米国の10年国債利回りは前月末比で上昇しました。世界のハイイールド債の信用スプレッド（国債に対する上乗せ利回り）は前月比で若干拡大しました。

【オーストラリア】

豪ドルは前月末比で、対ドルで上昇しました。国内の行動制限緩和による景気回復期待やオーストラリア準備銀行の金融緩和策の縮小時期の前倒し観測などが、豪ドルの上昇要因となりました。

【ブラジル】

ブラジルリアルは前月末比で、対ドルで下落しました。ブラジル中央銀行の利上げが継続したものの、新社会保障制度を巡る混乱から財政懸念が強まったことなどが、ブラジルリアルの下落要因となりました。

【南アフリカ】

南アフリカランドは前月末比で、対ドルで下落しました。国内経済の回復や堅調な貴金属価格の推移などを受けて月前半は上昇傾向となりましたが、月後半は貴金属価格の下落などを受けて下落に転じ、前月比で下落となりました。

上記の価格変動要因を理由に、1口当たり純資産価格は前月末比で米ドル建米ドルクラスは▲0.66%、米ドル建ブラジルリアルクラスは▲3.63%、米ドル建資源国通貨バスケットクラスは▲0.54%、豪ドル建豪ドルクラスは▲0.66%となりました。

今後のマーケットの見通しと運用方針

欧米における新型コロナウイルスの変異株の感染拡大が続いていることや原材料価格の高騰などにより、経済活動再開に悪影響が生じる可能性を慎重に見ています。主要中央銀行が量的緩和政策の縮小に向かう姿勢を示し始めていますが、当ファンドは、主要中央銀行は市場との対話を重視し、利上げを急がない姿勢を維持すると見えています。低金利環境の下で、利回り追求の動きが継続し、グローバル・ハイイールド債市場の追い風になると考えます。

地域別では、米国および欧州ハイイールド債市場のファンダメンタルズは改善傾向が見られることから、引き続き、米国、欧州の順に魅力的な投資機会があると見えています。エマージング市場については、中国の大手不動産会社の信用懸念を契機に不透明感が強まっている中国をアンダーウェイトとする一方、選別的に保有する方針です。

今後も新型コロナウイルスの変異株の感染状況や、経済活動の再開状況、中央銀行による金融政策などを注視しつつ、信託財産の保全と良好なリスク調整後リターンの獲得を目指し、保守的な投資スタンスを維持する方針です。

※上記のマーケット動向とファンドの動きは、過去の実績であり将来の運用成果等をお約束するものではありません。また、見通しと運用方針は、作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等により当該運用方針が変更される場合があります。

為替取引によるプレミアム/コスト（対米ドル）

ブラジルリアル	資源国通貨バスケット	豪ドル
7.59%	3.64%	-0.08%

※1 上記の為替取引によるプレミアム（金利差相当分の収益）/コスト（金利差相当分の費用）は基準日時点の米ドルとの短期金利差であり、実際の為替取引によるプレミアム/コストとは異なります。

※2 資源国通貨バスケットの為替取引によるプレミアム/コストの算出に使用した短期金利は豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドの各通貨に3分の1ずつ配分したものと計算しています。

※3 各通貨の短期金利は米ドルは1ヵ月LIBOR、豪ドルは1ヵ月オーストラリア銀行間取引金利、ブラジルリアルは1ヵ月金利スワップレート、南アフリカランドはヨハネスブルグ・インターバンク・アグリッド・レート1ヵ月です。

■本資料はアセットマネジメントOne株式会社からの情報提供に基づき、みずほ証券株式会社が作成した資料です。取得のお申し込みにあたっては、あらかじめ「投資信託説明書（交付目論見書）」、「契約締結前交付書面等（目論見書補完書面含む）」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本ファンドは、世界のハイイールド債券等値動きのある証券に投資し、また、それぞれの通貨に対する為替取引を行いますので、1口当たりの純資産価格は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点での見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無しに変更する場合があります。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を勧誘するものではありません。■投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元本および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。■お申し込みに際しては、外国証券取引口座の開設が必要となります。

DIAMケイマン・トラスト・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション
 <米ドル建米ドルクラス（無分配型）> <米ドル建ブラジルリアルクラス（毎月分配型）>
 <米ドル建資源国通貨バスケットクラス（毎月分配型）> <豪ドル建豪ドルクラス（毎月分配型）>
 ケイマン諸島籍／オープン・エンド型／契約型外国投資信託
 月次運用レポート（2021年11月）

ファンドの特色(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

- 主としてグローバル・ハイイールド債券^{*1}に投資を行い、高水準のインカムゲインの確保と、信託財産の成長をめざして運用を行います。
 ・グローバル・ハイイールド債券の運用は、ファンダメンタル分析に基づくボトムアップ・アプローチを用いて、ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシーが行います。
 ・グローバル・ハイイールド債券への投資割合は、原則として高位を保ちます。
 ※米ドル建以外の通貨建資産に投資を行った場合には、原則として対米ドルでの為替取引を行います。
 *1 グローバル・ハイイールド債券とは、S&PもしくはフィッチによりBB+以下の格付を付与された債券、またはムーディーズによりBa1以下の格付を付与された債券をいいます。なお、格付が分かれる債券はより低い格付を有するものとみなします。
- お客さまのご投資ニーズに合わせて4つの通貨クラスから選択することができます。
 ・米ドル建米ドルクラス(無分配型)、米ドル建ブラジルリアルクラス(毎月分配型)、米ドル建資源国通貨バスケット^{*2}クラス(毎月分配型)、豪ドル建豪ドルクラス(毎月分配型)からお選びいただけます。^{*3}
 ・各通貨クラス(米ドル建米ドルクラスを除きます。)では、原則として、米ドル売り取引対象通貨^{*4}買いの為替取引^{*5}を行います。
 *2 資源国通貨バスケットとは、豪ドル、ブラジルリアル、南アフリカランドの各通貨に原則として3分の1程度ずつ配分したものをいいます。
 *3 ファンドの受益証券は、米ドル建米ドルクラス(無分配型)受益証券、米ドル建ブラジルリアルクラス(毎月分配型)受益証券、米ドル建資源国通貨バスケットクラス(毎月分配型)受益証券、および豪ドル建豪ドルクラス(毎月分配型)受益証券の4種類です(以下「受益証券」または「日本公募受益証券」といいます。)
 *4 取引対象通貨とは、通貨クラスが実質的に投資を行う通貨をいい、米ドル建米ドルクラス(無分配型)受益証券については米ドル、米ドル建ブラジルリアルクラス(毎月分配型)受益証券についてはブラジルリアル、米ドル建資源国通貨バスケットクラス(毎月分配型)受益証券についてはブラジルリアル、南アフリカランドおよび豪ドル(以下「資源国通貨バスケット」という場合があります。)、ならびに豪ドル建豪ドルクラス(毎月分配型)受益証券については豪ドルをいいます。
 *5 為替取引とは、保有資産通貨を売り予約し、取引対象通貨を買い予約する契約を結ぶことです。為替取引を行うと実質的に取引対象通貨を保有することと同様の効果があります。
- 「毎月分配型」^{*6}は、原則として毎月5日(営業日^{*7}でない場合は翌営業日)に収益分配を行います。
 ・「無分配型」^{*8}は、分配を行いません。
 *6 「毎月分配型」とは、米ドル建ブラジルリアルクラス(毎月分配型)受益証券、米ドル建資源国通貨バスケットクラス(毎月分配型)受益証券および豪ドル建豪ドルクラス(毎月分配型)受益証券をいいます。また、これらを「分配型クラス受益証券」ということがあります。
 *7 「営業日」とは、東京、ニューヨークおよびロンドンの銀行が営業を行い、かつニューヨーク証券取引所が取引のために営業している日(土曜日および日曜日を除きます。)、または投資顧問会社との協議に基づき、管理会社が随時に決定することのできるその他の日をいいます。
 *8 「無分配型」とは、米ドル建米ドルクラス(無分配型)受益証券をいいます。
 ・将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。
 ・分配金額は、分配方針に基づいて投資顧問会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- ※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

◆管理会社・その他関係法人◆

<管理会社>	クイーンズゲート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー・リミテッド
<投資顧問会社>	アセットマネジメントOne株式会社
<副投資顧問会社>	ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー
<受託銀行>	ファーストカリビアン・インターナショナル・バンク・アンド・トラスト・カンパニー (ケイマン)リミテッド
<管理事務代行会社/保管銀行>	米国みずほ銀行
<為替管理会社>	ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー
<代行協会員/日本における販売会社>	みずほ証券株式会社 商号等：みずほ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第94号 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人金融先物取引業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

■本資料はアセットマネジメントOne株式会社からの情報提供に基づき、みずほ証券株式会社が作成した資料です。取得のお申し込みにあたっては、あらかじめ「投資信託説明書(交付目論見書)」、「契約締結前交付書面等(目論見書補完書面含む)」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本ファンドは、世界のハイイールド債券等値動きのある証券に投資し、また、それぞれの通貨に対する為替取引を行いますので、1口当たりの純資産価格は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点での見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無しに変更する場合があります。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を勧誘するものではありません。■投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元本および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。■お申し込みに際しては、外国証券取引口座の開設が必要となります。

DIAMケイマン・トラスト・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション
<米ドル建米ドルクラス（無分配型）> <米ドル建ブラジルリアルクラス（毎月分配型）>
<米ドル建資源国通貨バスケットクラス（毎月分配型）> <豪ドル建豪ドルクラス（毎月分配型）>
ケイマン諸島籍／オープン・エンド型／契約型外国投資信託
月次運用レポート（2021年11月）

ファンドの投資リスク(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください)

ファンドの1口当たり純資産価格は、ファンドに組入れられる有価証券の値動き、為替変動等により影響を受けますが、運用による損益は全て投資者の皆さまに帰属します。したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、下記の変動要因により1口当たり純資産価格が下落し、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

また、投資信託は預貯金と異なります。

なお、1口当たり純資産価格の変動要因は、下記に限定されるものではありません。その他の留意点など、くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

○ 金利リスク

債券価格は、金利の変動に基づき変動することがあります。一般的に、金利の上昇局面では、債券価格は下落する傾向があります。一方、金利の低下局面では、債券価格は上昇する傾向があります。債券価格の変動の程度は、債券の満期および発行条件を含む多くの要因によって決まります。

○ 為替リスク(外国為替市場と為替取引)

ファンドの資産が米ドル以外の投資通貨建の投資資産に投資された場合、ファンドは、為替変動の影響を受けることとなります。外国為替取引が行われる市場は、変動性が極めて大きく、極めて専門的かつ技術的です。かかる市場では、流動性や価格の変動などの重大な変化が極めて短時間に発生することがあります。外国為替取引のリスクには、為替リスク、金利リスクおよび外国政府が介入する可能性(現地の為替市場、外国投資または特定の外貨取引の規制を通じて)が含まれますが、これらに限定されません。

米ドル建米ドルクラス(無分配型)受益証券を除いたファンドの各クラスでは、当該クラスの保有者の勘定で、米ドルを売却し、当該クラスの取引対象通貨を購入する為替取引を行います。したがって、取引対象通貨(または、取引対象通貨が複数ある場合、加重ベースで評価された取引対象通貨)がクラス建通貨に対して値下がりした場合、他の条件が同じであると仮定すると、1口当たり純資産価格は低下することになり、その結果、投資者は、為替変動により、投資した金額の一部を失う可能性があります。

豪ドル建豪ドルクラス(毎月分配型)受益証券では、対豪ドルでの為替取引により、クラス建通貨(豪ドル)の投資対象資産の通貨(米ドル)に対する為替リスクの低減を図ります。しかし、為替リスクを完全に排除する保証はなく、かかるクラス受益証券は為替変動の影響を受けます。米ドル建米ドルクラス(無分配型)受益証券については、為替取引は行われません。

取引対象通貨(または、取引対象通貨が複数ある場合、加重ベースで評価された取引対象通貨)の金利が、クラス建通貨の金利よりも低い場合、これらの金利差は、当該クラスにおいてコスト(金利差相当分の費用)となることが予想されます。取引対象通貨の需要と供給の変化により、コスト(金利差相当分の費用)は、取引対象通貨とクラス建通貨の金利差に基づいて予測されたコスト(金利差相当分の費用)の水準と大きく異なる場合があります。

受益証券の1口当たり純資産価格が、それぞれのクラス建通貨における1口当たりの申込価格を下回らない場合であっても、為替変動により1口当たり純資産価格が円換算された1口当たりの申込価格を下回る場合となる場合には、日本国内の投資者は、円換算ベースで損失を被る可能性があります。

○ 信用リスク(債券に関する信用リスク)

ファンドが保有する格付の低い債券は、発行体の財務状況、経済状況の悪化または金利が予想外に上昇した場合、発行体が適切に元利金を支払うことが出来なくなるリスクがあります。かかる証券には、高いデフォルトリスクが伴い、投資資産の価値に影響を及ぼすことがあります。発行体に適切なタイミングでの元利金の支払い能力またはその意思がない場合(またはそう考えられる場合)には、ファンドが保有する債券の価格に影響します。

○ 流動性リスク(投資ポートフォリオの流動性)

比較的流動性が低い証券の市場は、流動性が高い証券の市場に比べて変動性が大きい傾向があります。比較的流動性が低い証券にファンドが投資した場合、投資顧問会社および/またはその委託先は、その希望する価格で、かつ、希望する時に、ファンドの投資資産を処分できないことがあります。

○ カントリー・リスク(政治および/または規制リスク)

ファンドの資産の価値は、国際的な政治情勢、政府の政策の変化、税制の変更、外国投資および本国送金の制限、為替変動その他投資先の国々の法規の発達などの不確実性によって影響を受ける可能性があります。また、投資が行われる可能性のある一部の国における法的基盤ならびに会計、監査および報告基準では、主要な証券市場で一般に適用されるものと同等の投資者保護または投資者への情報の提供が行われない可能性があります。

■本資料はアセットマネジメントOne株式会社からの情報提供に基づき、みずほ証券株式会社が作成した資料です。取得のお申し込みにあたっては、あらかじめ「投資信託説明書(交付目論見書)」、「契約締結前交付書面等(目論見書補充書面含む)」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本ファンドは、世界のハイイールド債券等値動きのある証券に投資し、また、それぞれの通貨に対する為替取引を行いますので、1口当たりの純資産価格は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点での見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無しに変更する場合があります。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を勧誘するものではありません。■投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元本および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。■お申し込みの際は、外国証券取引口座の開設が必要となります。

DIAMケイマン・トラストグローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション
<米ドル建米ドルクラス（無分配型）> <米ドル建ブラジルリアルクラス（毎月分配型）>
<米ドル建資源国通貨バスケットクラス（毎月分配型）> <豪ドル建豪ドルクラス（毎月分配型）>
ケイマン諸島籍／オープン・エンド型／契約型外国投資信託
月次運用レポート（2021年11月）

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください) ①

購入(申込み)単位	1口以上1口単位
購入(申込み)価格	関連する取引日に該当する評価日における評価時点で定められる、該当する受益証券のクラスの1口当たり純資産価格「営業日」とは、東京、ニューヨークおよびロンドンの銀行が営業を行い、かつニューヨーク証券取引所が取引のために営業している日(土曜日および日曜日を除きます。)、または投資顧問会社との協議に基づき、管理会社が随時に決定することのできるその他の日をいいます。 「取引日」とは、設定日(2011年8月9日)からの各営業日および／または管理会社が随時に決定することのできるその他の日をいいます。 「評価日」とは、設定日からの各営業日または管理会社が随時に決定することのできるその他の日をいいます。 「評価時点」とは、午後1時(ニューヨーク時間)または管理会社が随時に決定することのできるその他の時点をいいます。
購入(申込み)代金	国内約定日(申込注文の成立を日本における販売会社が確認した日をいい、原則として、申込日の翌国内営業日となります。)から起算して4国内営業日目までに、日本における販売会社にお支払いください。 ※円貨で支払われた場合におけるクラス建通貨への換算は、当初申込期間中の申込みについては各申込日における、また継続申込期間中の申込みについては国内約定日における東京外国為替市場の外国為替相場に準拠したものであって、日本における販売会社が決定するレートによるものとします(ただし、日本における販売会社が別途取り決める場合を除きます。)
換金(買戻し)単位	1口以上1口単位
換金(買戻し)価格	関連する取引日に該当する評価日における評価時点で定められる、該当する受益証券のクラスの1口当たり純資産価格
換金(買戻し)代金	国内約定日(換金注文の成立を日本における販売会社が確認した日をいい、原則として、換金申込日の翌国内営業日となります。)から起算して4国内営業日目から、お支払いします。 ※円貨で支払われる場合におけるクラス建通貨からの換算は、国内約定日における東京外国為替市場の外国為替相場に準拠したものであって、日本における販売会社が決定するレートによるものとします(ただし、日本における販売会社が別途取り決める場合を除きます。)
申込締切時間	購入(申込み)：原則として営業日の午後4時(日本時間)まで 換金(買戻し)：原則として営業日の午後4時(日本時間)まで
換金(買戻し)制限	管理会社は、取引日に買戻しを受けることができる受益証券の総口数を、管理会社が定める日における発行済受益証券の一定割合または一定金額に限定することができ、この場合、請求は比例按分的に減じられ、差額は翌取引日に関して受領された買戻請求書に優先して翌取引日に買戻されます。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	受託銀行は、自己の裁量において、以下の状況を含むいかなる理由によっても、受益証券1口当たり純資産価格の決定ならびに／またはファンドの受益証券の発行および／もしくは買戻しを停止することができます。 (a) ファンドの直接的または間接的な投資資産が上場されている証券取引所が閉鎖されている(通常の休日および週末を除きます。)、またはかかる取引所での取引が制限もしくは停止されている期間 (b) ファンドがその投資資産を評価または処分することが合理的に実行可能でなくなるか、ファンドの受益者に対し著しい損害を及ぼすことになる、緊急事態またはその他の状態を構成すると受託銀行が判断する状況が存在する期間 (c) ファンドの直接的または間接的な投資資産の価格もしくは価値、または上記の証券取引所における現在の価格もしくは価値を決定するために通常用いられる通信手段が故障している期間、または、その他の何らかの理由により、ファンドが(直接的または間接的に)保有する投資資産の価格もしくは価値を合理的に速やかにかつ正確に確認できない期間 (d) 投資資産の現金化または取得に伴う資金の移動を、通常の為替レートで行うことができず、管理会社との協議の上で受託銀行が判断する期間 (e) 受託銀行が、ファンド、受託銀行、管理会社もしくはそれらの関連会社、子会社、共同経営者またはファンドのその他のサービス提供者に関し、受託銀行、管理会社または管理事務代行会社に適用されるマネー・ロンダリング防止規則を遵守するために停止が必要であると判断した期間
信託期間	ファンドは2026年4月30日に終了します。(なお、ファンドの設定日は2011年8月9日です。)
繰上償還	ファンドは以下のいずれかの事由が発生した場合には、信託期間の満了前に終了することがあります。 (a) 受益者により、ファンドが終了する旨のファンド決議が可決された場合 (b) ケイマン諸島における規制ミューチュアル・ファンドとしてのトラストの免許その他承認が無効または不利に変更された場合 (c) 受託銀行が、管理会社との協議の上、ファンドを継続することが現実的でなくもしくは望ましくなく、またはファンドの受益者の利益に反すると判断した場合 (d) 受託銀行の辞任または管理会社の解任もしくは辞任に際し、適切な代替者または受託者もしくは管理者の承継者がいない場合 (e) 発行済みでかつ残存しているファンドの受益証券の数が300,000口を下回り、かつ、受託銀行との協議の結果、管理会社がファンドの終了を決定した場合

■本資料はアセットマネジメントOne株式会社からの情報提供に基づき、みずほ証券株式会社が作成した資料です。取得のお申し込みにあたっては、あらかじめ「投資信託説明書(交付目論見書)」、「契約締結前交付書面等(目論見書補完書面含む)」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本ファンドは、世界のハイイールド債券等値動きのある証券に投資し、また、それぞれの通貨に対する為替取引を行いますので、1口当たりの純資産価格は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点での見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無しに変更する場合があります。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を勧誘するものではありません。■投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元本および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。■お申し込みの際は、外国証券取引口座の開設が必要となります。

DIAMケイマン・トラストグローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクション
 <米ドル建米ドルクラス（無分配型）> <米ドル建ブラジルリアルクラス（毎月分配型）>
 <米ドル建資源国通貨バスケットクラス（毎月分配型）> <豪ドル建豪ドルクラス（毎月分配型）>
 ケイマン諸島籍／オープン・エンド型／契約型外国投資信託
 月次運用レポート（2021年11月）

お申込みメモ(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください) ②

決算日	毎年1月31日
収益分配	<ul style="list-style-type: none"> ● 分配型クラス受益証券 原則として毎月5日(営業日でない場合は直後の営業日)に分配金の宣言を行い、分配を行う予定です。分配対象額が少額の場合、分配が行われないことがあります。 ● 米ドル建米ドルクラス(無分配型)受益証券 原則として分配は行わない予定です。
課税関係	ファンドは、税法上、公募外国株式投資信託として取扱われます。ただし、将来における税務当局の判断によりこれと異なる取扱いがなされる可能性もあります。 ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA(ニーサ)」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。

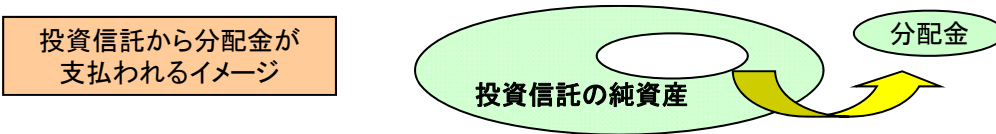
お客さまにご負担いただく手数料等について(くわしくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)

下記手数料等の合計額等については、購入金額や保有期間等に応じて異なるため、事前に表示することができません。詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。※税法が改正された場合等には、税込手数料が変更となることがあります。

●ご購入時	
購入時手数料	申込み時において、申込口数に応じて、申込価格に次の料率による申込手数料が課されます。 1,000口未満…………… 3.3%(税抜3.0%) 1,000口以上10,000口未満… 2.2%(税抜2.0%) 10,000口以上30,000口未満… 1.1%(税抜1.0%) 30,000口以上…………… 0.275%(税抜0.25%) 購入時(申込)手数料は、商品および関連する投資環境の説明および情報提供等ならびに購入に関する事務手続の対価として、購入時に頂戴するものです。
●ご換金時	
買戻手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。
●保有期間中(信託財産から間接的にご負担いただきます。)	
運用管理費用(管理報酬等)	<ul style="list-style-type: none"> ●運用管理費用(管理報酬等)の合計：純資産価額に対して年率0.115%および日本公募受益証券に対応する純資産価額に対して年率1.465%の合計(ただし、最低報酬が適用される場合があります。)(ただし、下記のその他の費用・手数料もファンドの信託財産から支払われます。) ・受託報酬：純資産価額に対して年率0.01%(ただし、四半期当たり3,750米ドルを最低額とします。) ・管理報酬：純資産価額に対して年率0.01%(ただし、四半期当たり3,750米ドルを最低額とします。) ・管理事務代行報酬：純資産価額に対して年率0.08%(ただし、四半期当たり11,250米ドルを最低額とします。) ・保管報酬：純資産価額に対して年率0.015%、または、受託銀行と保管銀行が随時合意するその他の報酬 ・投資顧問報酬：日本公募受益証券に対応する純資産価額に対して年率0.755% ・販売報酬：日本公募受益証券に対応する純資産価額に対して年率0.51% ・代行協会員報酬：日本公募受益証券に対応する純資産価額に対して年率0.20%
その他の費用・手数料	トラストの設立費用、ファンドの設立費用、投資対象の保有にかかる費用、ファンドに関して課される税金、会計監査人の報酬および費用、法律、監査、評価および会計の費用、信託証書に基づく受託銀行への払戻し、公租公課、補足信託証書の作成および受益者総会の開催のための手数料および費用・その他ファンドの運営、管理および維持に関連する費用その他の費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。なお、トラストの設立費用については、その償却期間内に他のファンドが設定された場合、当該他のファンドと按分して負担することになります。上記手数料等は、一部の費用等が実費となる場合がありますため、これらを合計した料率もしくは上限額等を事前に表示することができません。

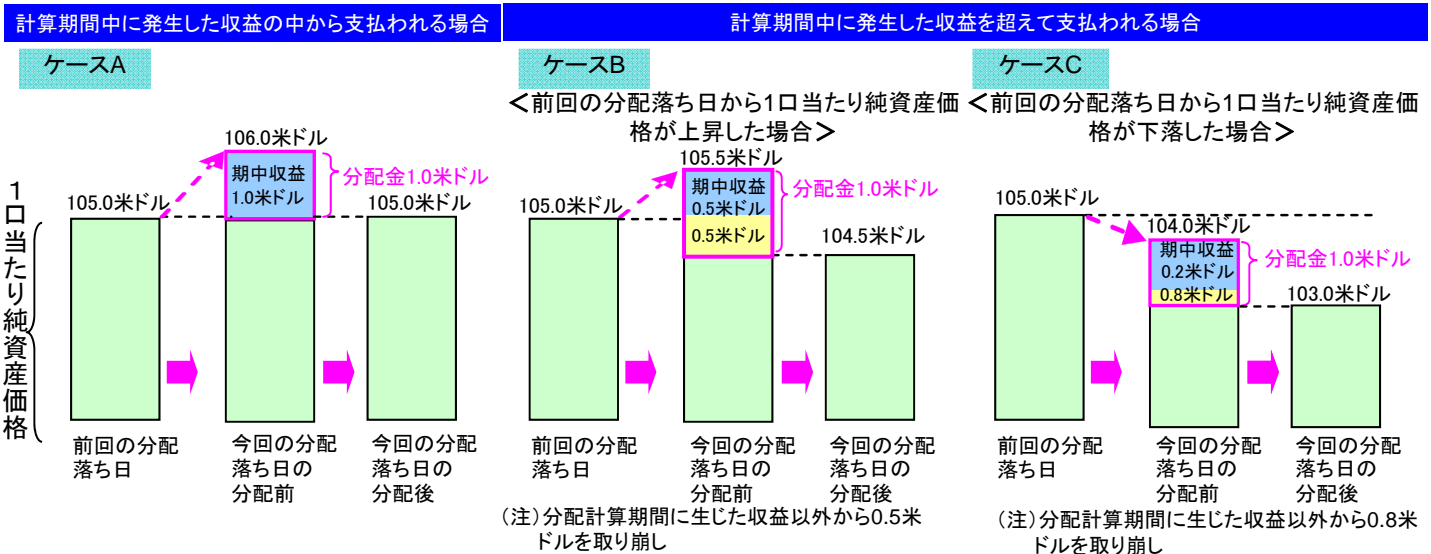
■本資料はアセットマネジメントOne株式会社からの情報提供に基づき、みずほ証券株式会社が作成した資料です。取得のお申し込みにあたっては、あらかじめ「投資信託説明書(交付目論見書)」、「契約締結前交付書面等(目論見書補完書面含む)」をお渡しいたしますので、必ずその内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■本ファンドは、世界のハイイールド債券等値動きのある証券に投資し、また、それぞれの通貨に対する為替取引を行いますので、1口当たりの純資産価格は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。■本資料に記載された過去の運用実績に関する数値・データは将来の運用成果を保証するものではありません。本資料に記載された市場やポートフォリオの見通し等は、本資料作成時点での見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無しに変更する場合があります。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。■本資料は情報の提供を目的とするものであり、個別銘柄の売却、購入等の行為を勧誘するものではありません。■投資信託は預金保険または保険契約者保護機構の対象ではありません。■銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。■投資信託は、金融機関の預金と異なり、元本および利息の保証はありません。■投資した資産の価値の減少を含むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うこととなります。■お申し込みの際には、外国証券取引口座の開設が必要となります。

投資信託の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、1口当たり純資産価格は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。



分配金は、分配計算期間中に発生した収益(投資資産から得られる利息および配当による純利益ならびに純実現キャピタルゲイン)を超えて支払われる場合があります。その場合、今回の分配落ち日の1口当たり純資産価格は前回の分配落ち日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも分配計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

分配金額と1口当たり純資産価格の関係(イメージ)(米ドル建クラスの場合)



上図のそれぞれのケースにおいて、前回の分配落ち日から今回の分配落ち日まで保有した場合の損益を見ると、次の通りとなります。

ケースA: 分配金受取額1.0米ドル + 今回の分配落ち日と前回の分配落ち日との1口当たり純資産価格の差 0米ドル = 1.0米ドル
 ケースB: 分配金受取額1.0米ドル + 今回の分配落ち日と前回の分配落ち日との1口当たり純資産価格の差 ▲0.5米ドル = 0.5米ドル
 ケースC: 分配金受取額1.0米ドル + 今回の分配落ち日と前回の分配落ち日との1口当たり純資産価格の差 ▲2.0米ドル = ▲1.0米ドル

★ A、B、Cのケースにおいては、分配金受取額はすべて同額ですが、1口当たり純資産価格の増減により、投資信託の損益状況はそれぞれ異なった結果となっています。このように、投資信託の収益については、分配金だけに注目するのではなく、「分配金の受取額」と「投資信託の1口当たり純資産価格の増減額」の合計額でご判断ください。

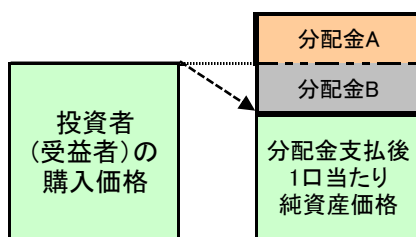
※ 分配金は、分配方針に基づき支払われます。

上記はイメージであり、実際の分配金額や1口当たり純資産価格を示唆するものではないのでご注意ください。

上記は、便宜上米ドルによる表示を行っていますが、実際の分配金額や1口当たり純資産価格は、各クラスのクラス建通貨(米ドル、豪ドル)により表示されます。

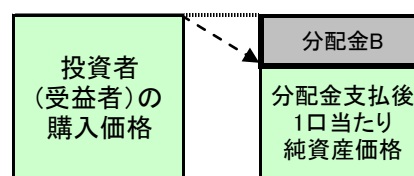
投資者(受益者)のファンドの購入価格によっては、分配金の一部ないし全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より1口当たり純資産価格の値上がり率が小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※ 購入価格を上回る部分(分配金A)に加え、下回る部分(分配金B)も分配金として課税対象となります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合

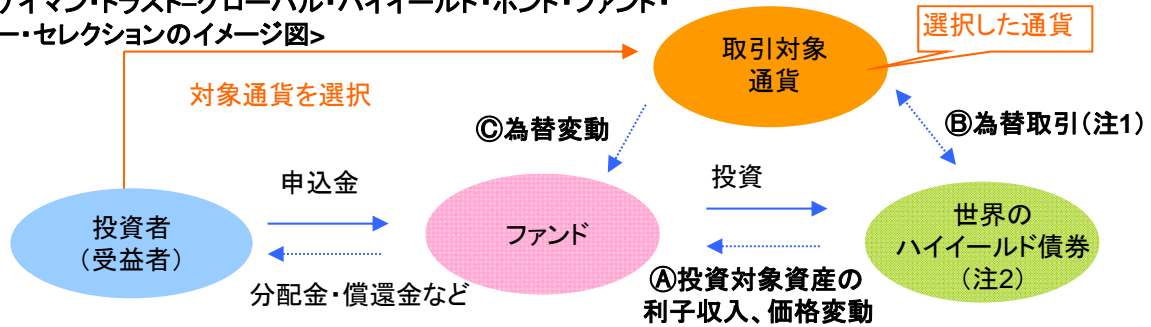


※ 購入価格を下回る部分(分配金B)も分配金として課税対象となります。

(注) 分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

- 通貨選択型の投資信託は、株式や債券などといった投資対象資産に加えて、為替取引の対象となる通貨も選択することができるように設計された投資信託です。

<DIAMケイマン・トラスト・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクションのイメージ図>



(注1) 取引対象通貨がクラス建通貨以外の場合には、当該取引対象通貨の対クラス建通貨での為替リスクが発生することに留意が必要です。
 (注2) 米ドル建以外の通貨建資産に投資を行った場合には、原則として対米ドルでの為替取引を行います。
 ※ 米ドル建米ドルクラス(無分配型)は⑧の為替取引を行いません。
 ※ 豪ドル建豪ドルクラス(毎月分配型)は⑧の対豪ドルでの為替取引により、クラス建通貨(豪ドル)の投資対象資産の通貨(米ドル)に対する為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

- DIAMケイマン・トラスト・グローバル・ハイイールド・ボンド・ファンド・カレンシー・セレクションの収益源としては、以下の3つの要素があげられます。これらの収益源に相応してリスクが内在していることに注意が必要です。

① 投資対象資産による収益(上図A部分)

- ・世界のハイイールド債券が値上がりした場合や利子が支払われた場合は、1口当たり純資産価格の上昇要因となります。
- ・逆に、世界のハイイールド債券が値下がりした場合には、1口当たり純資産価格の下落要因となります。

② 為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)(上図G部分、米ドル建米ドルクラス(無分配型)除く)

- ・「選択した通貨」の短期金利が、「世界のハイイールド債券の通貨」(米ドル)の短期金利よりも高い場合は、その金利差による「為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)」が期待できます。
- ・逆に、「選択した通貨」の短期金利のほうが低い場合には、「為替取引によるコスト(金利差相当分の費用)」が生じます。
- ※「選択した通貨」が新興国通貨の場合などは、金利差がそのまま反映されない場合があります。

③ 為替変動による収益(上図C部分、米ドル建米ドルクラス(無分配型)、豪ドル建豪ドルクラス(毎月分配型)除く)

- ・上図G部分とは異なり、上図C部分については対クラス建通貨での為替取引を行っていないため、「選択した通貨」と「クラス建通貨」が異なる場合には、「選択した通貨」の「クラス建通貨」に対する為替変動の影響を受けることとなります。
- ・「選択した通貨」が「クラス建通貨」に対してレートが上昇した場合は、為替差益を得ることができます。
- ・逆に、「選択した通貨」が「クラス建通貨」に対してレートが下落した場合は、為替差損が発生します。

- これまで説明しました内容についてまとめますと、以下のようになります。

収益の源泉	=	世界のハイイールド債券の 利子収入、値上がり/値下がり	+	為替取引による プレミアム/コスト	+	為替差益/為替差損
収益を得られる ケース		金利の低下 等 ↑ ハイイールド債券 価格の上昇		取引対象通貨の短期金利 >米ドルの短期金利 ↑ プレミアム(金利差相当分 の収益)の発生		クラス建通貨に対して 取引対象通貨高 ↑ 為替差益の発生
損失やコストが 発生する ケース		金利の上昇 ↓ ハイイールド債券 価格の下落 発行体の信用状況の悪化 等		取引対象通貨の短期金利 <米ドルの短期金利 ↓ コスト(金利差相当分 の費用)の発生 ※米ドル建米ドルクラス(無分配型)を 除きます。(注3)		クラス建通貨に対して 取引対象通貨安 ↓ 為替差損の発生 ※米ドル建米ドルクラス(無分配型) (注3)、豪ドル建豪ドルクラス(毎月 分配型)(注4)を除きます。

(注3) 米ドル建米ドルクラス(無分配型)は⑧の為替取引を行わないため、為替取引によるプレミアム/コストおよび為替差益/為替差損が発生しません。

(注4) 豪ドル建豪ドルクラス(毎月分配型)は⑧の対豪ドルでの為替取引により、クラス建通貨(豪ドル)の投資対象資産の通貨(米ドル)に対する為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

※市況動向によっては、上記の通りにならない場合があります。

※ 上記に加え、各通貨クラスは米ドル建以外の通貨建資産に投資を行った場合には、原則として対米ドルでの為替取引を行います。為替リスクを完全に排除できるものではなく、米ドル以外の通貨の為替変動の影響を受ける場合があります。また、上図Gの為替取引とは別に、当該米ドル以外の通貨と米ドルの為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)/コスト(金利差相当分の費用)が発生します。

為替予約取引とNDF取引

為替取引を行うにあたり、「為替予約取引」を用います。

しかし、一部の新興国通貨では……
(中国元、ブラジルレアル、インドルピー、
インドネシアルピアなど)
「為替予約取引」ができません。

そこで

NDF取引を活用

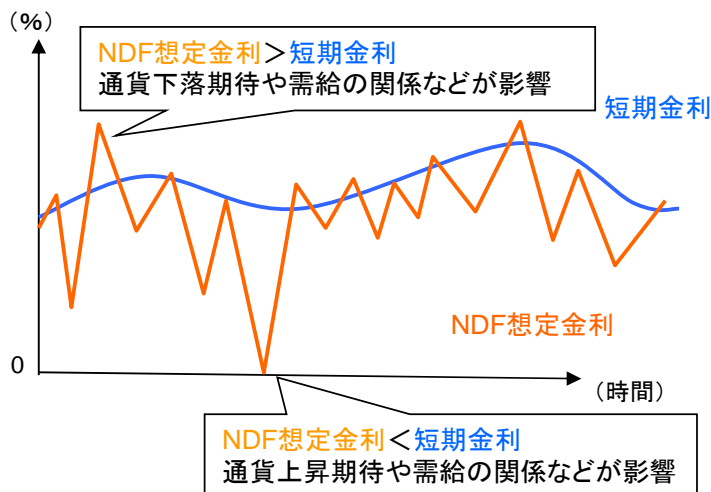
【理由】

為替市場が未成熟であったり、当局が国外での自国通貨の流通を制限しているなどの理由で、本国以外で多額の当該通貨の保有、調達、決済などが難しいためです。

NDF(ノン・デリバブル・フォワード)取引とは

- 直物為替先渡取引の一種です。主に金融機関との相対取引で、当該通貨の受渡しが発生せず、主に米ドルなど主要通貨で差金決済を行います。
- 通常の為替予約取引と比べ、取引参加者が少ないことや、当局による金融・資本市場における制約などから、金利裁定(割高や割安を是正する市場のメカニズム)が働きにくいだけでなく、取引参加者の為替見通しを反映した需給の影響をより強く受けることがあります。そのため、**NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)が、取引時点における当該通貨の短期金利水準から、大きく乖離**する場合があります。

NDF想定金利と短期金利が乖離する例(イメージ)



NDFの取引価格から想定される金利(NDFインプライド金利)は、通貨に対する需給や通貨の上昇期待が反映され、マイナスになる程低くなる場合もあります。その場合、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)の減少やコスト(金利差相当分の費用)の発生により、ファンドのパフォーマンスに影響を与えることがあります。

※左記は、イメージであり、すべての事象があてはまるとは限りません。また、将来の水準を予測、または示唆するものではありません。

- 外国為替市場の混乱等によりNDF取引が利用できなくなった場合には、選択した通貨への投資ができなくなるなどファンドの運用方針に沿った運用ができなくなるリスクもあります。同様のことが通常の為替予約取引についてもいえますが、特にNDF取引は為替予約取引に比べて流動性が乏しくなることがあるため、そのリスクが高くなります。

※上記の要因以外でも、投資対象資産の通貨の短期金利が上昇した場合は、為替取引によるプレミアム(金利差相当分の収益)が減少したり、コスト(金利差相当分の費用)が生じる可能性があります。

※上記は、NDF取引や為替市場に関する説明の一部であり、NDF取引および為替市場についてすべてを網羅したものではありません。